

「一緒に行って下さなければ」

モーセという人は、神の栄光のためには、自分を捨てることのできる人でした。

イスラエルの民の最大の危機は、不信仰により、神様に捨てられ、滅ぼされることです。

モーセは命がけで神様にすがり、神様の怒りを静めました。これは私たちの主イエス・キリストの十字架に贖いを思い起こさせます。モーセの生き様を学びながら、主なるキリストを仰ぎ、主イエス様に似る者にさせて頂きましょう。

今日の聖書の学びの要点

- ・祈りの手を上げ続けるとき、神様のみわざがなされる。
- ・私たちは神の臨在がなければ、一步も進むことができない。

I、祈りによって、勝利が与えられる

1、紅海を渡っても、不信仰な民は水がないとつぶやきます。

(出エジプト17：2～3)

①モーセはどうしたでしょうか。(出エジプト17：4)

②岩から水が与えられましたが、人々の心にはどのような思いがあるのでしょうか。(出エジプト17：7)

2、エジプトからイスラエルが出て来たことを知ったアマレク人が急に襲って来ました。この戦いの記事から、神様は私たちに何を教えようと思われたのでしょうか。(出エジプト17：9～12)

①手を上げ続ける、祈りの効力

②共に祈る者たちの必要性

Ⅱ、シナイ山での出来事

1、神様は人々の本当の心を知っておられます。

①神様は民をシナイ山麓に導き、契約と十戒を与えられました。

神様はイスラエルをどうしようと思われたのでしょうか。（出エジプト19：5～6）

②シナイ山から帰って来ないモーセ。民はどのような罪を犯したのでしょうか。

（出エジプト32:1～6）

③神様を信じていると言いますが、私たち人間の心は元々どのようなものなのでしょうか。（ローマ7:20～24）

2、神様にモーセはどのようにお願いしたのでしょうか。

（出エジプト32:9～33:6）

①民の罪を見た後のモーセの祈り
(32:32)

もし赦すことがかなわないなら・・・

1人の使いを遣わす、わたしは上らない

神様の答え (33:2)

②その後のモーセの祈り(33:12～13)

もしあなたのご臨在がともに行かないなら・・・

わたしの臨在がともに行き、休ませる

神様の答え(33:14)

3、どうしようもない罪人である私たちのために、主イエス様は 神様の前に十字架に架かり道を開いて下さいました。

- ・ 罪の赦し
- ・ キリストの十字架に共に付けられる
- ・ 復活のキリストが共におられる約束とご聖霊の臨在